オープンジオデータ推進戦略会議藤村報告

藤村 英範

国際連合日本政府代表部一等書記官(未着任)(2017-03-31まで国土地理院企画部国際課長)



現況紹介

2

4/1付で外務省に出向し、国際連合日本政府代表部一等書記官に転任となりました。今月中に任地ニューヨークに赴任予定です。引き続き国際文脈のジオスペーシャルに貢献させて頂くことになります。改めてよろしくお願い申しあげます。

画像は、外務省の海外安全対策のプロモーションです。たびレジ重要。私も、まずはマニュアルを読んでおくことだ。

※公表情報: http://www.gsi.go.jp/common/000186409.pdf... もっと見る



4/1 付 外務省出向 手続き、調整、マニュアル読解中

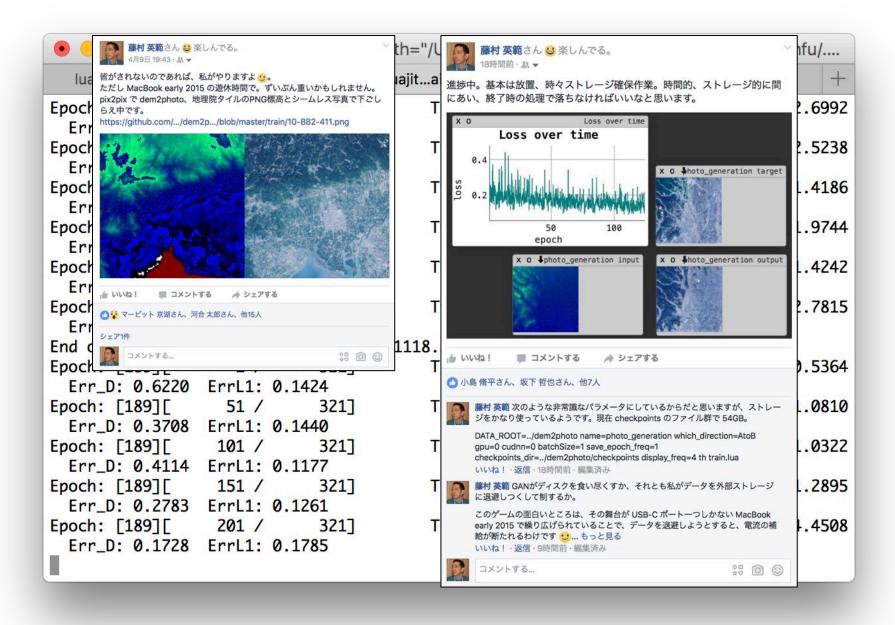
4/27 出国、国連代表部着任

5/1ころ 国際連合事務局 フィールド支援局(DFS) 情報通信技術部(ICTD) 地理空間情報課に派遣 (日本政府負担の「無償人材」)

※地理院職員の国連派遣は、15年ほど前に事例あり。ただし、 当時は国連正規職員として。



pix2pix 走らせながらプレゼンできることを示してやる



- ① 2015年12月に地理院国際課に異動。
- ② 地理院国際課は、自ら海外作業をするというよりは、海外に適切職員を送り出す空母のような役割の課。
- ③ 空母の立場のリモートから、「地球地図プロジェクトのクローズ」と「電子基準点網海外展開活動の院内・省内立ち上げ」に従事。
- ④ 地球地図データを国連地理空間情報課に移管した副産物として、当該課への職員派遣が形成され、「艦長」が第一号派遣者として「空母」から送り出されることに。

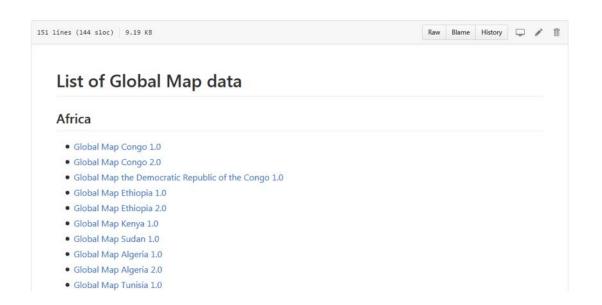
2016年夏の「Global Map Transfer Plan」

ISCGM 事務局は、参加機関に代わって国連地理空間情報課に地球地図データを送付する。

- 地球地図データは、国連システム内では出所明示を含む一切の制限なく使用できる。
- ウェブでの地球地図データの可用性を確保するため、参加機関から直接地球地図がリリースされ ていない場合には、ISCGM事務局はデータの可用性を確保するための措置をとる。

(注)移行計画は各参加機関の同意を得て執行する。同意がなければ、地球地図データは参加機関 の判断の対象に留まる。

- (1)地球地図各国版は早速 GitHub へ格納。
- (2)移行同意取得のためのレターを10末に発出。
- (3)地球地図データは死なず、国土地理院の手で最新式の<u>バイナリベクトルタイル</u>に変換
- (4)3月末、地球地図国際運営委員会事務局シャットダウン(→<u>国連派遣者が後始末</u>)





ただでは起きない

VT提供はISCGM事務局、味付けは派遣者個人



Proud to introduce additional z=9 dataset for all Global Map binary vector tiles. Produced with electricity provided in Nay Pyi Taw, and uploaded via bandwidth provided in Yangon.

https://hfu.github.io/globalmaps-vt-style/

Seems to reproduce good details.



- ① Transfer された地球地図の定着
 - ✓ 「国連地図」への地球地図統合も含む
- ② <u>オープンソースのノウハウ</u>を活用した、地球地図をはじめとする地理空間情報の国連システムでの活用推進
 - ✓ バイナリベクトルタイルを用いた、ウェブやタブレット やGISでの地理空間情報の活用
 - ✓ 安全保障理事会や平和維持活動での活用を含む
 - ✓ 地球地図標高タイルを当初データとした、3次元データの活用(地理院地図 Globe の技術ベース)
 - ✓ UN Open GIS Initiativeへの参画
- □ 2年間を初期計画期間として想定

Application of open source geospatial technology for UN operations: to plan, coordinate, and implement geospatial data sharing inside the UN System based on web technologies. Particular interest focus will be on the application of vector tiles and web-based 3D visualization using open source software. This work will form part of ICTD's open source geospatial technology roadmap.

→ 居るだけでUNはタイルの必要性を認めた形!

http://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/unp_a/page22_001753.html



2016年12月,日本は国連加盟60周年を迎えました。また、日本は2016年1月,加盟国最多の11回目の安保理非常任理事国入りを果たし(任期2年),世界の平和と安全にこれまで以上に積極的に取り組んでいます。2017年1月,グテーレス国連事務総長が就任し、国際社会が直面する諸課題の解決に向けて、国連は新たなスタートを切りました。こうした最近の動きも含め、国連の取組や、日本の国連を通じた国際貢献について理解を深めていただけるよう、パンフレット「日本と国連」を改訂しました。下記をクリックするとパンフレットをダウンロードできます。(2017年3月作成。A4サイズ、24ページ)。



配属先の組織文化にもよるが、当方オープンソース を明記しているだけに、いつか何らか絡めるのでは。 Application of open source geospatial technology for UN operations: to plan, coordinate, and implement geospatial data sharing inside the UN System based on web technologies. Particular interest focus will be on the application of vector tiles and web-based 3D visualization using open source software. This work will form part of ICTD's open source geospatial technology roadmap.

→ 居るだけでUNはタイルの必要性を認めた形!

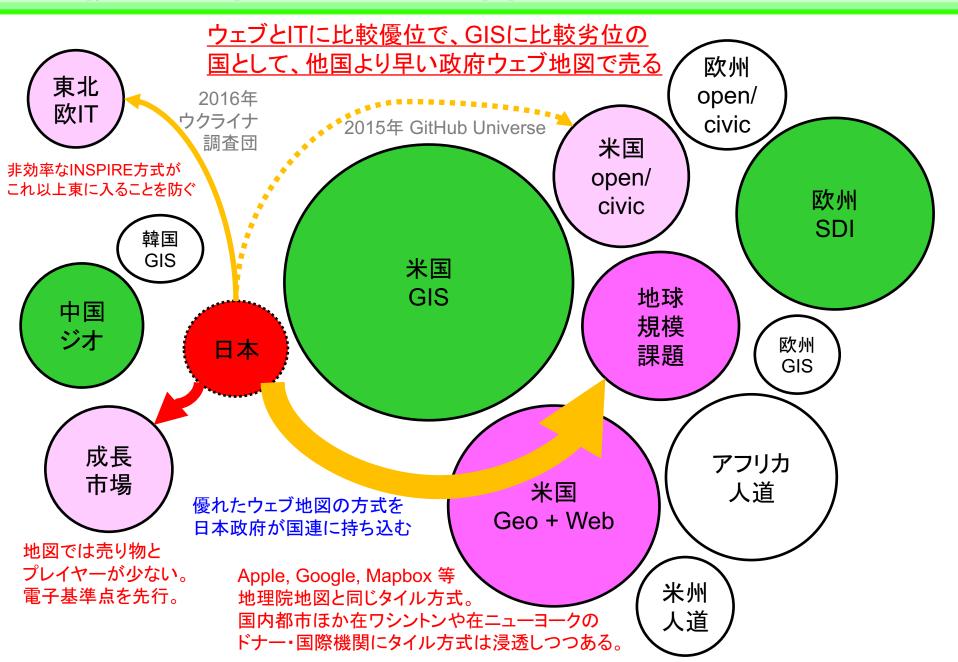
この業務項目だと タイルの使いみちを広げる こと自体ミッション じゃね?

「タイルは機械学習向き」という風評をつくる!





地理院競争の観点からみた地図のビッグピクチャー





The question of whether government can provide PNG elevation tiles has been answered ;-)

@mapbox @mapzen @benbalter @mxxtxr @kelsosCorner

GSI International @gsi_intl

2017-03-14: GSI become first-ever geo. information authority providing PNG elevation tiles. bit.ly/2niHwij bit.ly/2niOkMO pic.twitter.com/jw4LCoV335

3月14日 21:04







「Web時代のGIS技術」勉強会

Program Statement Link Top

第3回

第2回

第1回

第1回「Web時代のGIS技術」勉強会

日時

2010年6月25日(金) 18:00~



5. Junkers-Großflugzeug G 38 (1930).

開始期+30





http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:American_DC-3.jpg

- 1935 ダグラスDC-3 (初の本格商用旅客機)
- 2021 真に人間生活に欠かせないWeb?

- 高機能化と汎用化の同時進行
 - クエリではなくリソースがウェブを飛び交う。
 - 「用途を決めるのはサーバではなくクライアント」
 - どう考えてもタイルは正しい(笑)。
- 手放し化
 - どこにもエンジニアが張り付いている、という状態 ではスケールしない。
 - 地図データも然り。パターン認識系の流入は近い。
 - ラスタだけでなくベクトルも。as in autodraw.

- ニューヨークで気にすべきこと
- 期間中に日本サイドと連携できそうなこと